

CITIZEN®

取扱説明書

China	
Japan	JJY

Europe	
North America	

JP この時計が、受信可能な標準電波は表のとおりです。

- この時計は、日本国内の標準電波のみを受信します。

EN Time signals available to this watch is as shown on the table.

- This watch receives time signals from the signal stations in Japan only.

この時計の機種番号: HOF*

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。

Web取扱説明書

QRコードより、この時計のWeb取扱説明書をご覧ください。

citizen.jp/support/guide/html/hOf/hOf.html

- 最新情報やお知らせなどはこちらをご覧ください。
- 外装機能(計算尺、タキメーターなど)の操作方法もご覧ください。外装機能の搭載は、モデルによって異なります。



安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、**38～49**ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

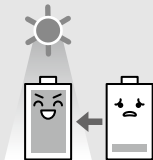
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

ご使用になる前に

開封後、時計をご使用になる前に、必ず次のことを行ってください。

- 秒針が1秒ごとに動いているか確認する

秒針が2秒ごとに動いているときは、充電が必要です。



この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については **10** ページをご覧ください。

■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

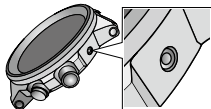
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタン



ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

- 金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

もくじ

この時計の特長.....	8
各部の名称	9
充電について	10
電波を受信する	15
手動で時刻・日を合わせる.....	24
時差を確認・設定する	28
基準位置について	30

困ったときは	34
オールリセット	37
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	38
防水性能について	40
お取り扱いにあたって	42
保証とアフターサービス.....	50
製品仕様	52
お問い合わせ窓口.....	54

この時計の特長



電波時計

日本国内の正確な時刻情報を受信できる「電波時計」(→15ページ)

- ・標準電波が受信できない地域での時刻・カレンダー合わせは、**24～27ページ**をご覧ください。



Eco-Drive

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。



パーペチュアルカレンダー

月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。

うるう年も自動で更新します。

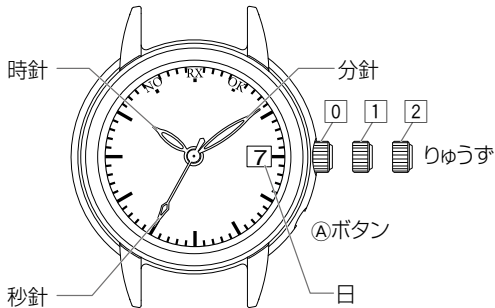
衝撃検知機能

時計が衝撃を受けたときに秒針と分針のずれを防ぎます。

JIS 1種耐磁性能

日常生活で磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、時計の機能を維持します。

各部の名称



- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。
- お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。

時計を太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、次のように充電すると、快適にご使用いただけます。

- ・月に一度は直射日光に当てて、5～6時間充電する
- ・光の当たらない場所での長期保管を避ける

注意

- ・高温下(約60℃以上)での充電はおやめください。
- ・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

■ 充電残量を確認する

秒針の動きで、充電のようすをお知らせします。

1. りゅうずの位置を0にする

2. ① ボタンを押す

ボタンを押した直後に、秒針が反時計回りに15秒戻る動きをしたときは、充電が必要です。

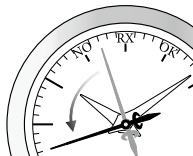
- ・ 秒針が反時計回りに動かなかった場合は、十分充電がされています。

※この操作は、受信結果確認と同じ操作になります。

※秒針は、「OK」または「NO」を指しますが、これは受信結果であり、充電の様子とは関係ありません。

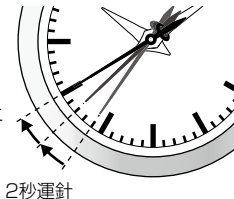
3. ① ボタンを押して、確認を終了する

- ・ ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻が表示されます。



■充電警告機能

充電不足になると、秒針が1秒運針から2秒運針(2秒毎に1回2目盛りずつ進む動作)に切り替わります。2秒運針を始めてから約3日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。



2秒運針しているときは定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。

「電波受信」「電波受信結果の確認」「時差の修正」「基準位置確認と修正」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り、2秒運針をはじめます。

■ 充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く 状態を1日 保つ	時計が停止して から通常に動き 出すまで	時計が停止して から充電完了ま で
屋外(晴天)	100,000	4分	3時間	25時間
屋外(曇天)	10,000	15分	5.5時間	80時間
30W蛍光 灯の20cm 下	3,000	45分	14時間	200時間
屋内照明	500	4.5時間	80時間	—

充電について

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
- 充電完了後、充電しないで時計が停止するまで
パワーセーブが作動しているとき: 約2.5年
パワーセーブが作動しないとき: 約7カ月
- 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで: 約3日
(持続時間は電波受信回数などによって異なります。)

■パワーセーブ機能

光が当たらない場所に長時間時計を保管した場合、午前00時00分00秒になった時点で自動的に針の運針が止まり内蔵電池の消耗を抑えます。(パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます。)

- 時計に光を当てると、パワーセーブが解除され現在の時刻を表示します。
- パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。

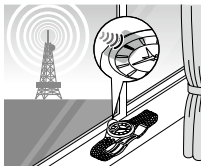
電波を受信する

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

<受信について>

標準電波を受信するときは時計を腕から外し、りゅうすの位置を④にした状態でお住まいの地域から近い方の送信所に、時計の左側面(9時側)を向けて、窓際に置いてください。

- 受信が完了するまで、時計を動かさないでください。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれを生じることがあります。
- 標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。
- 受信が完了するまでに、3分～15分程かかります。
- 秒針が2秒毎に1回動いているとき(充電警告中)は、電波の受信は行われません。先に、充電を行ってください。



■受信結果を確認する

前回の受信結果を確認することができます。

1. りゅうずの位置を0にする

2. ①ボタンを押す

秒針が、文字板上の受信結果表示位置を指し示します。

OK	受信成功
NO	受信失敗
RX	受信中



- ・ 受信結果を表示する前に、電池の充電の状況を秒針の動きでお知らせします。「充電残量を確認する」(→11 ページ)をご覧ください。

3. ①ボタンを押して、確認を終了する

現在の時刻が表示されます。

- ・ ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻が表示されます。

■ 定時受信(自動受信)

毎日、夜間に自動で受信します。

〈受信について〉をご覧ください。(→15 ページ)

- 受信を開始すると、秒針がRX に移動します。
- 受信中は秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。
- 受信が完了すると、秒針がRX から通常運針になります。
- 左記「受信結果を確認する」で受信結果を確認してください。

■強制受信(手動受信)

必要なときにいつでも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信でできなかった場合などに行ってください。

1. りゅうずの位置を0にする

2. ㊦ボタンを2秒以上押す

秒針が「RX」を指したら、㊦ボタンを離してください。受信が始まります。〈受信について〉のように時計を置いてください。(→15 ページ)

受信中に㊦ボタンを押し続けると、受信が中止されます。

受信を中止すると針が高速で回り、受信を始める前の時刻に、受信にかかった時間を加えた時刻に戻ります。

※受信を中断したり、受信に失敗したときは、時刻・日は修正されません。

■復活自動受信

充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

- 復活自動受信に失敗した場合は、充電不足で停止したときの時刻に戻り動き始めます。この場合は1秒運針していますが時刻が合っていないため、左記「強制受信」または、「手動で時刻・日を合わせる」(→**24**～**27** ページ)を行ってからご使用ください。
- 復活自動受信中は全ての操作ができません。

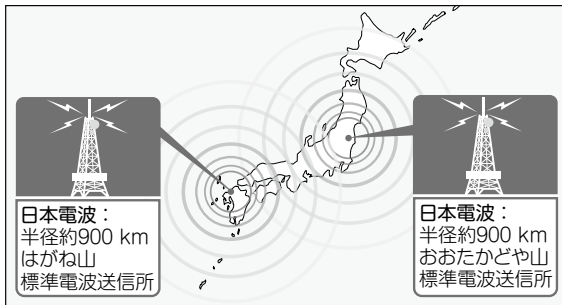
■標準時刻電波の受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。

受信可能地域はあくまでも目安ですので、**20** ページの図の範囲でも受信できない場合があります。

電波を受信する

距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候(雷など)などの影響により、変化する場合があります。



〈電波送信所〉

- おおたかどや山標準電波送信所(福島局)
- はがね山標準電波送信所(九州局)

〈標準電波について〉

日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究機構・日本標準時プロジェクトのホームページ(<http://jjy.nict.go.jp/>)をご覧ください。

※標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。

■電波受信がうまくいかないお客様へ

電波受信には、周囲の環境も大きく影響する場合があります。
お近くに高圧線があるなど、電波受信が困難な場所であることも考えられます。お近くの送信所の位置(→**20** ページ)などを参考に、受信しやすい場所を探してください。

その後、送信所方向の窓際に時計を置いて、手動での受信(→**18** ページ)をお試してください。

- ・窓ガラスに網が入っていると、受信しにくい場合があります。

■ 受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

- 極端に高温や低温の場所
- 乗り物の中



- 電化製品やOA機器の近く



- 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く



- 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下



- 通信中の携帯電話やスマートフォンの近く



手動で時刻・日を合わせる

時刻と日(年・月・日)を、手動で合わせます。

1. りゅうずの位置を2にする

秒針が30秒の位置に移動します。

2. ①ボタンを押す

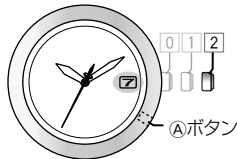
秒針が0秒の位置に移動し、分を合わせる準備ができました。

3. りゅうずを回して分を合わせる

- ・ 1分の修正ごとに、秒針が1回転します。
- ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

4. ②ボタンを押す

時針がわずかに動き、時と日を合わせる準備ができました。



5. りゅうずを回して時と日を合わせる

- ・ 日は時針と連動して替わります。
- ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。針の動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

6. ④ ボタンを押す

秒針が現在の月と年を指し、月と年を合わせる準備ができました。

- ・ 「月の表示」「年の表示」をご覧ください。(→26 ~27 ページ)

7. りゅうずを回して月とうるう年からの経過年を合わせる

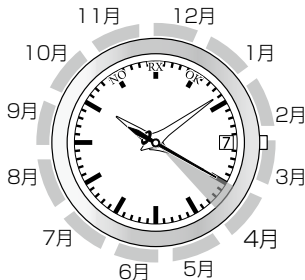
8. 時報などに合わせて、りゅうずの位置を0に戻す

現在の時刻が表示されます。

手動で時刻・日を合わせる

月の表示

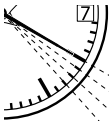
月は、秒針が位置している範囲で表示されます。



図はうるう年の4月を表示しています。

うるう年からの経過年の表示

うるう年から何年経っているか(経過年)は、各月ごとの表示範囲内で、秒針が指す目盛りの位置で表示されます。



例:4月のとき
うるう年
うるう年から1年目
うるう年から2年目
うるう年から3年目

秒針の位置	経過年	年
各月の表示範囲の最初の目盛り	0年(うるう年)	2020、2024
1目盛り目	1年	2021、2025
2目盛り目	2年	2018、2022
3目盛り目	3年	2019、2023

うるう年については、弊社ホームページで年表がご覧いただけます。
<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

万年歴(パーペチュアルカレンダー)

この時計には、2100年2月28日までのカレンダーが記憶されています。一度日を合わせれば、月末ごとの日修正の必要はありません。

時差を確認・設定する

■時差設定の仕方

海外の時差を設定することによって、現地の時刻を表示させることができます。

1. りゅうずの位置を $\boxed{1}$ にする

- ・ 秒針が、時計で設定されている時差を指します。
0秒位置: ± 0 時間 / 3秒位置: +3時間

2. ④ボタンを押す

秒針が動き、時差を設定する準備ができました。

3. りゅうずを回して、秒針を時差にあわせる

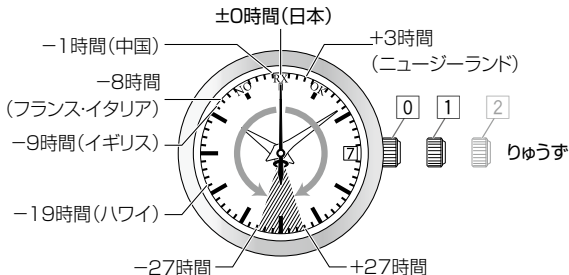
- ・ 秒針を1秒分動かすと、時針が1時間分動きます。
- ・ 「日本時間を基準とした時差の見かた」をご覧ください。

4. りゅうずの位置を $\boxed{0}$ に戻して、時差の確認・設定の操作を終了する

日本時間を基準とした時差の見かた

秒針の1秒分が1時間の時差に相当します。

前後(±)27時間の範囲で、1時間ずつ変更することができます。



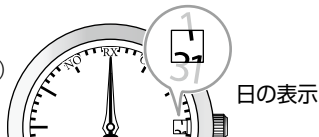
日本時間に戻すには左記手順3で「±0時間」に秒針を合わせます。

基準位置について

電波を適切に受信しても時刻・日が正しく表示されない場合は、まず基準位置が正しいかどうか確認してください。

基準位置とは時刻・日を表示するために基準としている、針と日の位置のことです。この時計は、次の状態を基準として電波で受信した時刻情報を表示します。

- 針の位置: 0時0分0秒
- 日の位置: 31日と1日の間(右図)



針や日が、正しい基準位置からずれていると、電波を受信しても、時刻・日が正しく表示されません。

■基準位置の確認・修正

1. りゅうずの位置を0にする

2. 右下にある(A)ボタンを押す

- ・ 秒針が動き、前回の受信結果を表示します。

3. りゅうずが止まるまで引き出す(りゅうずの位置を2にする)

- ・ 前回の受信結果が表示されている間に行ってください。
- ・ 各針が高速で動き始め、現在の基準位置が表示されます。

基準位置が正しい	手順8へ進む (最終手順)
基準位置がずれている	手順4へ進む

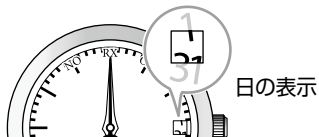
4. 右下の(A)ボタンを押す

- ・ 時針が動き、時針と日の位置を修正する準備が出来ました。

5. りゅうずを回して下記の位置に合わせる

時針: 0時

日: 31日と1日の間(下図)



- ・ 時針と日は連動して動きます。
- ・ りゅうずをすばやく回転させると針が連続で動きます。
針の動きを止めるにはりゅうずを左右のどちらかに回します。

6. ① ボタンを押す

分針と秒針が動き、分針と秒針の位置を修正する準備が出来ました。

7. りゅうずを回して下記の位置に合わせる

分針: 0分

秒針: 0秒

8. りゅうずの位置を0にし、Aボタンを押して終了する

現在の時刻が表示されます。

ボタンを押さなくても約2分すると現在の時刻が表示されます。

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

時計の状態	対処方法	詳細ページ
-------	------	-------

電波受信がうまくできない

受信可能地域内で受信が成功しない	りゅうずの位置を 0 にする	—
	電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避けて、時計の9時位置を送信所に向けて受信する	15、22
	受信が終わるまで、時計を動かさない	15
	上記でも解決しない場合は、弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。	55
受信はできるが正しい時刻・日が表示されない	時差設定を確認する	28～29
	基準位置を確認・修正する	30～33

時計の状態	対処方法	詳細ページ
秒針の動きがおかしい		
秒針が2秒毎に動く	充電する	3、10
秒針が数分毎に回る	電波を受信中です	15
全ての針が停止している	りゅうずの位置を 0 にする	—
	直射日光で5～6時間充電します。充電後、自動で電波の受信が始まります(復活自動受信)	19
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまでお待ちください	14

時計の状態	対処方法	詳細ページ
-------	------	-------

時刻・日がおかしい

時刻や日が正しくない	時差設定を確認する	28～29
	基準位置を確認・修正する	30～33
	電波を受信して、時刻・日を合わせる	15
	手動で時刻・日を合わせる	24～27
昼の12時頃に日が変わる	基準位置を確認・修正する	30～33
	電波を受信して、日を合わせる	15
	手動で時刻を12時間ずらす	24～25

その他

充電しても、すぐに止まる	直射日光で5～6時間充電します。それでも、変化がないときは、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください	55
--------------	---	-----------

オールリセット

各機能が正常に動作しているときは、オールリセットをしないでください。

オールリセットを行った後は、必ずお使いになる前に「基準位置合わせ」をしてから、「時刻合わせ」を行ってください。この作業を行わないと、各機能を正常な状態で使用することができません。

1. 基準位置確認状態にする

2. りゅうずの位置を $\boxed{2}$ にする

3. ①ボタンを9秒以上押す

- ・ 各針が少しだけ動きますが、ボタンを押し続けます。
9秒以上してからボタンを離すとオールリセットされ、再び各針が動きます。

4. 基準位置を正しい位置にする

5. りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする

- ・ ①ボタンを押して、通常状態にもどします。
- ・ 秒針が1秒毎に動き始めます。

6. 電波受信、または手操作で時刻を合わせて完了する

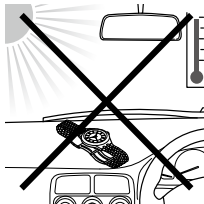
エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)
 - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
 - 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
 - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり持続時間が短くなることがあります。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

警告 防水性能について

- ・ 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・ WATER RESIST(ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- ・ 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- ・ 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例



水がかかる程度
の使用。(洗顔、
雨など)



水仕事や一般
水泳に使用。



スキンドайビング、
マリンスポーツに
使用。



空気ボンベを使用
するスキューバ潜水
に使用。



水滴がついた状
態でのりゅうずやボ
タンの操作。

×

×

×

×

×

○

×

×

×

×

○

○

×

×

×

○

○

○

×

×

お取り扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- ・ りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問合せ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・ 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・ 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。
また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。

- 腐食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき
- ・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- ・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。

磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・ クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・ 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・ 時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- ・ りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ・ ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ・ ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- ・ 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- ・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- ・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービス

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜定期点検(有償)について＞

・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	HOF*	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差±15秒 常温(+5℃～+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃～+60℃		
表示機能	- 時刻: 時・分・秒 - カレンダー: 日		
持続時間	- 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで: 約7ヶ月(通常使用時) 約2.5年(パワーセーブ機能が作動しているとき) - 充電警告が始まってから時計が停止するまで:約3日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		

付加機能	• 光発電機能 • 充電残量表示機能(充電ランクは表示しません) • 過充電防止機能 • 充電警告機能(2秒運針) • パワーセーブ機能(節電機能) • 電波受信機能(自動受信/手動受信/復活自動受信) • 受信中表示機能(RX) • 受信結果表示機能(OKまたはNO) • パーペチュアルカレンダー(2100年2月28日まで) • 衝撃検知機能 • JIS 1 種耐磁性能
------	---

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

<https://citizen.jp/>